

# 市議会だより

## かしば

No.130

# 人・街・暮らし

■発行：香芝市議会 ■編集：香芝市議会だより編集委員会  
■連絡先：〒639-0292 香芝市本町1397 香芝市議会事務局 ☎76-2001(代)



▲オニは～外！中学のお兄さんやお姉さんと元気に豆まき（若葉保育所）



▲オニの登場をまつ園児たち



▲病気やケガも外に出ていけ～！

### おもな内容

- ・平成22年12月定例会の概要と結果……………2P
- ・委員会付託議案……………2P
- ・一般質問……………4P～11P
- ・平成23年3月定例会会期予定……………12P
- ・議会日誌……………12P

# 平成22年12月定例会

平成22年第5回定例香芝市議会は、11月30日に召集され、12月17日までの18日間の会期で行われました。本定例会では、理事者から提出された条例の一部改正や補正予算などの16議案、また市議会議員から提出された決議や発議など3議案、請願2議案の合計21議案について、慎重に審議いたしました。

## 平成22年12月第5回(定例会)香芝市議会結果

議案番号	議案	議案結果
諮第3号	人権擁護委員(玉井由夫氏)の推薦につき意見を求めることについて	原案承認
諮第4号	人権擁護委員(出川和子氏)の推薦につき意見を求めることについて	原案承認
諮第5号	人権擁護委員(福井修氏)の推薦につき意見を求めることについて	原案承認
議第44号	香芝市の一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正することについて	撤回承認
議第45号	香芝市の特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正することについて	原案可決
議第46号	香芝市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正することについて	原案可決
議第47号	香芝市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正することについて	原案可決
議第48号	香芝市公共施設整備基金条例の一部を改正することについて	原案可決
議第49号	平成22年度香芝市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決
議第50号	平成22年度香芝市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議第51号	平成22年度香芝市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議第52号	平成22年度香芝市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議第53号	平成22年度香芝市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議第54号	第4次香芝市総合計画基本構想の策定について	原案可決
議第55号	香芝市文化施設の指定管理者の指定について	原案可決
議第56号	香芝市道路線の認定について	原案可決

議案番号	議案	提出者	議案結果
請願第1号	子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願書	※芦高 省五 ※池田 英子	不採択
発議第7号	香芝市議会議員定数条例の一部を改正することについて	森井 常夫	原案可決
決議第2号	北朝鮮による韓国・大延坪島砲撃に関する決議	川田 裕	原案可決
請願第2号	細菌性髄膜炎ワクチンの公費助成による定期接種化の早期実現を求める請願書	※芦高 省五 ※池田 英子	採択
意見書第3号	ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書	中山 武彦	原案可決

※ 紹介議員

### 委員会付託議案

総務財政委員会	議第47号、議第48号、議第49号、議第54号
民生文教委員会	議第50号、議第51号、議第52号、議第55号、請願第2号、意見書第3号
建設水道委員会	議第53号、議第56号

# 議員定数 2 名削減を可決

## 〔18名から16名に〕

議員提出議案の発議第7号「香芝市議会議員定数条例の一部を改正することについて」は、全国的に地方議会議員の役務量に対する適正化が求められ、多くの地方自治体の議員定数が削減される中、香芝市議会においても、全国の地方議会の状況や議員の議会活動データ等を分析し、現在行われている役務量の最大限責務を果たす適正な定数を考えた場合、現状の審議状況では過剰定数であるとして、現在の定数18から2名を削減する一部改正案を賛成多数で可決いたしました。(要約)



**賛成議員：** 長谷川翠、黒松康至、北川重信、河杉博之、小西高吉、下田 昭、中村良路、森井常夫、奥山隆俊、川田 裕、中山武彦、池原道生

**反対議員：** 芦高省五、細井宏純、橋本元秀、堀川和行、池田英子

※この条例の適用は、施行された日以後初めてその期日を公示される一般選挙からです。

## 主な議案の内容と委員会での審査概要

### 議第54号 第4次香芝市総合計画基本構想の策定について

**【議案内容】** 平成23年度を初年度として10年間の本市の方向性やまちづくりの基本目標を示すものである。

#### 【審査の概要】

(問) 第3次香芝市総合計画をどのように検証して、第4次香芝市総合計画基本構想を提案したのか。

(答) 第3次香芝市総合計画の検証を踏まえ、重点施策である医療体制の充実やバリアフリー化を進めた生活道路の整備、災害体制の充実、子育て支援などの事業を継続的に実施していきたい。

(要望) 今回の基本構想の基本目標にも、自然と人の調和や共存に関することを掲げているが、言葉だけで進歩がない。二上山や屯鶴峯などの整備も十分でないと考えられることから、今後は、実効性のあるものにしてもらいたい。

**【簡易採決(反対なし)で可決】**

### 請願第2号 細菌性髄膜炎ワクチンの公費助成による定期接種化の早期実現を求める請願書

#### 【請願内容】

一、すみやかにヒブワクチンと肺炎球菌七価ワクチンの公費助成による定期接種化をおこなうことを求めます。

一、ヒブワクチン・肺炎球菌七価ワクチンについて妊産婦、乳幼児がいる世帯に周知徹底することを求めます。

#### 【審査の概要】

(問) 香芝市議会として、昨年12月にヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成の意見書を国に提出し、さらに今回、国の動向が決まった段階でも市も対処すると言っているにもかかわらず、この請願を市に提出する理由について

(答) この請願は市民の声であるので、いろんな形で声を出していくべきだと考えている。

(問) このワクチンの公費助成を行っている自治体の状況について

(答) 8月末で240の自治体が公費助成をしている。

**【賛成多数で可決】**

### 意見書第3号 ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1) 総合対策を求める意見書

#### 【要望内容】

一、医療関係者や地域保健担当者を対象とした研修会を早急に実施すること。

一、HTLV-1母子感染対策協議会を全都道府県に設置し、検査体制、保健指導・カウンセリング体制の整備を図ること。

一、相談支援センターを設置し、感染者および発症者の相談支援体制の充実を図ること。

一、感染者および発症者のための診療拠点病院の整備を推進すること。

一、発症予防や治療法に関する研究開発を大幅に推進すること。

一、国民に対する正しい知識の普及と理解の促進を図ること。

一、発症者への支援、福祉対策を推進すること。

#### 【審査の概要】

(問) 妊婦健康診査時にHTLV-1の抗体検査を実施している自治体について。

(答) 長崎県では、早くから抗体検査を実施しており、妊婦には授乳指導をしている。

(問) 現在、治療方法が確立されていない中で、どういう効果を求めているのか。

(答) 療法は今後の問題であるが、検査やカウンセリング体制を早急に整備し、新しい病気をこれ以上広めないという趣旨である。

**【簡易採決(反対なし)で可決】**



12月定例会の一般質問は12月13日、14日に行われ、10人の議員が市政全般にわたり市の見解をたしました。

一般質問 質問者・項目

※太字の項目は本文中に要約文を掲載。  
(掲載は質問順)

池原道生

- 新たな名所・名物産出に向けて
- 香芝市役所の各データ管理状況について
- 第4次香芝市総合計画について

池田英子

- 介護保険制度の改善について
- 発達障害学級の充実について
- スクールソーシャルワーカーについて

中山武彦

- 行政の「見える化」の推進について
- ペットをめぐる諸課題について
- 下水道事業の推進について
- 介護保険制度の充実について

川田裕

- 福祉部組織の見直しについて
- 予算編成について

奥山隆俊

- 新しい視点から見た福祉への取組みによる、教育現場の現状と改善について
- 地域活性という視点から見た今後の農業のありかたについて

橋本元秀

- 市民協働の街づくりについて
- ホスピタリティについて
- 市民保護計画について
- 市長の政治スタンスについて

細井宏純

- 市長による中央省庁への陳情 要望について
- 商工農連携による新産業の育成について
- 情操教育について

河杉博之

- 長寿社会に向けて
- 青少年の健全育成について

芦高省五

- 雇用対策について
- 年末を控え、中小業者の活性化について

長谷川翠

- 平成23年度香芝市予算編成にあたり、本市の方針について
- 第4次香芝市総合計画基本構想に基づいた今後のまちづくりについて

※詳細は、香芝市議会のホームページに掲載予定です。

池原道生 議員

▼新たな名所・名物産出に向けて

(問) 米粉パンやかしば香るみそ等以外の新しい名物の産出について

〔都市建設部長〕現状として、米粉パン、かしば香るみそ、またソバ栽培など、今ある産品のさらなる充実に向けて取り組んでいる。

(問) 土に依存しない農法、水耕栽培によるブランド化について

〔都市建設部長〕水耕栽培は、営農条件が厳しい本市の農業にとっては魅力的な分野であり、コストや販路等の課題があるが、今後も農業振興の観点から、先進的な取り組み事例には十分注目していきたい。

(問) 冬彩で使用されている和紙玉を我が香芝市の名物とし、ブランド化してはいいかがか。

〔市民生活部長〕

冬彩実行委員会も和紙玉の名物化には力を込めておられるので、市としてもバックアップしていきたいと考えている。



▲和紙玉(平成22年12月冬彩)

〔要望〕第4次香芝市総合計画では、大きく市民協働をうたっており、和紙玉づくりはまさしく市民協働になるのではないかと。また、和紙玉作製

時に使用する和紙も牛乳などの紙パックから作製を行えばリサイクル運動にも取り組むことができるので、この点も検討いただきたい。

(問) 二上山や屯鶴峯などの各名所に撮影スポットを設置することについて

〔都市建設部長〕市内の名所は、香芝市観光マップや市のホームページで紹介しており、撮影スポットについては、今後調査を行いホームページで紹介したい。

▼香芝市役所の各データ管理状況について

(問) 特に個人情報のセキュリティ対策について

〔企画部次長〕平成十六年四月に香芝市個人情報保護条例を、また情報セキュリティ対策の基本方針として平成十七年三月に香芝市情報セキュリティポリシーを策定しており、これらの規定に基づきセキュリティ対策を行っている。

(問) 現在香芝市を含む、2市5町の奈良県基幹システム共同化検討会で進められているクラウドコンピューティングにおける本市の個人情報等のセキュリティ問題について

〔企画部次長〕今回導入するクラウドコンピューティングは、データセンターで共同化対象業務のシステムサーバー、本体機器を設置してサーバーを利用するが、団体ごとのハード

池田 英子 議員

▼介護保険制度の改善について

〔問〕本市において介護認定度の変更があった方の調査結果について

〔保健福祉部次長〕厚労省では、昨年四月より判定項目の見直しを実施し、本市での結果は、認定更新をされた方で、軽くなつたが18%、重くなつたが23%、従来と同じが59%となつており、軽い方に偏つておるということない。

〔問〕本市での特別養護老人ホームの待機状況について

〔保健福祉部次長〕現在、市内には2カ所の特養があるが、2カ所とも約三百人の待ちとなつておる。

〔問〕特養への入所順の決め方、及び入つておられる方について

〔保健福祉部次長〕必ずしも先着順ではなく、入所必要度の高い方から入所いただくとなつておる。結果として、要介護4と5の方が入所者数の3分の2を占めておる。

〔問〕高齢者の居場所づくりの施設である宅老所の誘致と、高齢者に対する介護予防への取り組みについて

〔保健福祉部次長〕宅老所の統一された定義はなく、高齢者が住みなれた地域で生活できるようにきめ細かく対応した福祉サービスを提供している地域に密着した施設を言い、デイ

サービスに近いものがある。

本市には、現在7カ所のデイサービスや多くの福祉サービス事務所があるので、現在市独自の宅老所の開設は考えていない。

介護予防対策としては、要介護状態になるおそれの多い方には筋力トレーニングや水中運動教室などの紹介や参加を要請している。

▼発達障害学級の充実について

〔問〕幼児期や就学前の児童に対する発達障害の早期発見への取り組みについて

〔保健福祉部長〕保健センターでは、特に1歳6カ月健診と3歳6カ月健診で臨床心理士による発達相談を行っている。また保育所や幼稚園の入所、入園、小学校に入学するときには事例紹介と連絡会議を持つて連携している。



▲保健センター

〔問〕学童期にある発達障害の子どもたちに対する支援の現状について

〔教育部長〕特別支援学級では、指導する一人の担任に対し児童・生徒の定員は6名である。通常学級に在籍し特別支援の必要な児童・生徒については、特別支援教育に対し指導的な役割を果たしている特別支援教育

コーディネーターが学級担任とともに個別の指導計画を作成し、全校体制で支援を行っている。

〔問〕発達障害に対して専門的な知識を持つ職員の配置状況について

〔教育部長〕通級教室であるステップ教室やことばの教室を設置しており、これらの教室では特別支援教育士スーパーバイザー、学校心理士、臨床発達心理士などの専門資格を持った教員が指導している。また、資格を持った教員たちは、学校や幼稚園を巡回し、子どもの生活面や学習面、就学などの相談を行っている。

〔問〕発達障害について学校ではどのような研修を行っているのか。

〔教育部長〕全教職員が発達障害についての基礎知識を持ち、一人一人の個性に応じて作成した指導計画をもとに、それぞれの子どもに対して行うべき配慮、適切な支援を全教職員が共有する研修を行っている。

▼スクールソーシャルワーカーについて

〔問〕スクールソーシャルワーカーの活動状況について

〔教育部長〕本年度から学校教育課に配置して、子どもの心だけでなく、子どもを取り巻く環境も含めて相談の対象とし、関係機関と連携し、協力し合いながら、子どもの抱える問題解決をする手助けを行っている。

ウエアであり、他市町とのデータが混在することはなく、本市の個人情報報が他市町に流れることもない。さらに、データセンターと参加団体を結ぶ通信回線も、総合行政ネットワークLIGWANを経由した接続となつておりセキュリティは確保されていると考えている。

▼第4次香芝市総合計画について

〔問〕基本構想にある、「すがすがしい生活環境の形成」「緑の保全・再生・整備」について

〔都市建設部長〕公園整備による緑地空間の確保、施設利用者への利便性、安全性向上のためのバリアフリー化の推進、豊かな生活環境の創造、保全を図るための景観形成、安全な道づくりなどに取り組みたい。

〔市民生活部次長〕市民の環境保全への意識高揚を図り、ごみの減量や再資源化の推進と、持続可能な資源循環型社会の構築を図りたい。

〔問〕教育施策の推進について

〔教育部長〕今後、市の財政状況、さらには文部行政との動向も考慮しつつ、教育における不易の精神を具体化していく予定である。

〔問〕香芝市総合計画基本構想の基本的な考え方について

〔市長〕行政が、市民と協働でまちづくりを進めることを最重要課題と位置づけている。

中山 武彦 議員

▼行政の「見える化」の推進について

(問) これまでの行政改革の成果をどう評価しているのか

〔企画部次長〕 民間活力の導入、事務事業の見直し、受益者負担の適正化などにより、効果額は約44億円となり、大きな成果があった。

(問) ポスト集中改革プランの計画の進め方について

〔企画部次長〕 第2次行政改革大綱の総括報告においては、未達成事業の中にも重要な事項も含まれており、その部分についていつまでにどこまで実施するのかを示した今後の重点取り組み計画を作成し、ポスト集中改革プランと位置づけ、これを実践することで積み残し事業の完遂を図りたいと考えている。

(問) 今後の財政見込みについて

〔総務部長〕 公債費及び実質公債費比率は平成二十三年度をピークに以降は改善すると思うが、ここ数年の財政収支見通しは毎年度二、三億円の財源不足が予想され依然予断を許さない状況である。

(問) 予算、決算の事業別評価によるわかりやすい公表について

〔企画部次長〕 現在の新総合計画における取り組み体系を歳出予算における事業別に整理する作業をしてお

り、あわせてこれらの内容を事務事業評価するシステムを本年度中に構築するための再編作業を進めている。今後は、これらを公表することで政策決定過程をわかりやすく、知らせることができると考えている。

(問) 新しい公会計制度(改訂モデルから基準モデルへ)の導入について

〔総務部長〕 新しい公会計整備は、住民への説明責任の履行と、資産や債務管理など、財政の効率化・適正化の2点を大きな目的としたものであり、現在本市では市民にもわかりやすい総務省方式改訂モデルを採用している。

▼ペットをめぐる諸課題について

(問) 犬猫のふんの始末、マナー向上について

〔市民生活部次長〕 啓発用の看板を設置したり、自治会の協力のもとで飼い主の自覚と注意を促すための回覧も通し周知するとともに、市のホームページや広報紙等により啓発し、マナー意識の向上に努めているところである。

(問) 仮称「ワンダフルクラブ」の創設について

〔市民生活部次長〕 県内には無いが、今後先進地事例や問題点などを整理した上で考えていきたい。

▼下水道事業の推進について

(問) 現在の要望状況と今後の普及

計画について

〔上下水道部長〕 下水道整備の要望件数は現在35件あり、状況によるが要望されてから工事完了までは概ね3年から4年程度を要している。

(問) 早急な事業推進の取り組みについて

〔市長〕 厳しい財政状況であるが料金改正したこともあり、できる限りの事業展開を図りたい。

▼介護保険制度の充実について

(問) 介護支援ボランティアの取り組みについて

〔保健福祉部次長〕 現在13の地域において地域福祉委員会が配食サービスや世代間との交流サロンや暮らしの勉強会などの地域コミュニティ形成イベントを行っている。

(問) 人員や組織面からの地域包括センターの充実について

〔企画部長〕 第5期の介護保険の保険計画の市民ニーズ調査結果や、現在の状況も踏まえた中で検討していきたいと考えている。

(問) ショートステイの拡大について

〔保健福祉部次長〕 昨年九月にミニ特養と広域型特養の公募をしたが、その際に定員にプラスしてショートステイのための部屋を設置することを条件とした。今後も施設整備の際には、ショートステイ枠を増設していただくよう要請していきたい。

川田 裕 議員

▼福祉部組織見直しについて

(問) 事務量の増加による自治事務の限界について

〔保健福祉部長〕 過去に人員を増強してきたが、福祉需要が更に上回り、現実的に自治事務まで充実できない状況も見受けられる現状である。

(問) 法定事務についてはどうか。

〔保健福祉部長〕 相当な事務量があり、高齢者人口や介護保険申請者数も4年間で23%増加しており、現実にも追われているのが実情である。

(問) 住民基礎データからこれ等の現状はある程度シミュレートでき、市として当然把握していたのでは。

〔保健福祉部長〕 現場ではデータを把握し、それを計画として実行を心がけているが、全体的に把握されていなかった点もあった。

(問) 事務分担を含めた事務分掌の改善、現状に合った人事配置の管理はなぜ進まないのか。その原因は。

〔企画部長〕 特に福祉部門は、事務量が膨れ上り、最小限の人数での取組が現状である。内容を吟味した中で今後の組織を検討し、改善することが平成二十二年四月の機構改革のときの考え方であった。

(問) 他市との比較は本市の標準財政規模に応じて行うべきと思うが、

他市の介護関係職員数について

〔保健福祉部長〕本市では、高齢福祉課で地域包括支援センターも含め19名、大和高田市では27名、大和郡山市では34名となっている。

〔問〕配置人員数の格差が明らかであり、市民サービスへの影響を、今後どのように改善していくのか。

〔企画部長〕標準財政規模が同規模の団体や類似団体の資料も把握し、各部門別の人数を検証する。

〔問〕今回精神保健福祉士の募集もされたが、今後の精神的ケア施策の方向性について

〔保健福祉部長〕現代のストレス社会の中では、うつ病や心身症などがふえてきており、これらの状況に対応するために精神保健福祉士を職務につけるといふことである。

〔問〕香芝市だけで相談、対応できる体制を充実するということか。

〔保健福祉部長〕来年度を起点として本市でも十分対応できる体制をつくりたいと考えている。

▼予算編成について

〔問〕施策決定における考究過程と説明責任について

〔企画部長〕予算編成前に新規あるいは重要事項の事務事業の審査を行っており、今年重点是戦略事業として事業内容を中心に評価委員会で評価を行ったところである。

〔問〕具体的な評価の方法について

〔企画部長〕重点戦略事業の評価においては、特に重要度と緊急度に分けて判定をしている。

〔問〕PDCAサイクル等、評価方法を行政も取入れ進めているのか。

〔企画部長〕日常業務等はそれぞれの部課に任せ、評価をしている。

〔改善要求〕評価基準、手法を変え、過去から脱却し、反省的観察の強化を行わなければならない。

〔問〕能事の優先順位の決定過程は。

〔企画部長〕年間の必要案件については、政策会議で予算に関係なく、行政改革の推進内容等、市の体制にかかわる内容を中心に、新規又は重要事業の審査を行い、予算化可能かを吟味し優先順位をつけている。

〔問〕厳格財政の願意について

〔都市建設部長〕近年の一般財源の枠配分から、所管する事業において、まず優先する事業と劣後する事業等に細分化して対応している。

〔問〕皆が頑張つて僅かな光が見えてきた現状において、今後は更に結果検証を厳格に行い、生きた税の使い方及び考え方を一新する必要があるのではないか。

〔総務部長〕行革と事業抑制で生み出された貴重な財源は、将来を見据えた施策に充て、有効的な活用は最重要課題だと考えている。

奥山 隆俊 議員

▼新しい視点から見た福祉への取り組みによる教育現場の現状と改善について

〔問〕スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの役割の分担について

〔教育部長〕不登校やいじめ等の問題を抱える子どもたちへの対策として中学校にスクールカウンセラー各1名、学校教育課にスクールソーシャルワーカーを1名配置している。

スクールカウンセラーは、主に相談活動を行い、子ども自身が自分の心の問題を整理し、解決策を導き出すことの手助けをしている。スクールソーシャルワーカーは、子どもを取り巻く環境に働きかけ、問題の原因解明や、問題解決に向けた調整することが主な役割である。

〔問〕問題解決のために連携する他の機関について

〔教育部長〕青少年センターの適応指導教室や子ども家庭相談センターなどと連携している。

〔問〕学校内で問題が発生した場合に、カウンセラーやスクールソーシャルワーカーがその問題にかかわるタイミングと連携のとり方について

〔教育部長〕子どもたちが何か問題を抱えるようになれば、最初に対応す

るのは学校の教師であるが、教師による相談を重ねても、改善や解決に向かう兆しが見えない場合は深刻化しない段階で専門家にかかわっていただいている。

その場合、心の問題である場合はスクールカウンセラーに、子どもを取り巻く外的な環境への働きかけが必要な場合はスクールソーシャルワーカーに、また両者にと、状況を見きわめながら判断している。

〔問〕学校の枠を外れた、虐待や育児放棄等への対応について

〔保健福祉部長〕住民からの通報や相談等があった場合は、学校、民生児童委員、児童福祉課及び高田子供家庭相談センターがかかわりながら対応している。

▼地域活性という視点から見た今後の農業のあり方について

〔問〕散在する遊休農地等の対策を含めて農業の現状の認識とその支援体制について

〔都市建設部長〕良好な農地の維持は非常に重要であり、従来から耕作放棄地を防ぐためJAと連携して、市民農園の運営や非農家の菜園づくりなどを推進している。



▲「香芝ふれあい体験農園」

また昨年の農地法の改正を受け、農業委員会では、従来の農家管理から農地管理にシフトがえを行い耕作放棄地対策を講じるための新体制への移行を図っているところである。

〔問〕農家への戸別補償制度の利用実態と、新しいシステム構築に向けた今後の農家と行政との役割分担について

〔都市建設部長〕農家への戸別所得補償制度の加入数は、農家約八百軒のうち99軒の加入という結果であった。加入者が少ないのは営農規模が零細であり、飯米をつくることで精いっぱい、主力となる農作物がない等の理由が考えられる。

今後は、農地利活用検討協議会等で検討し、農家と行政とで今後のあり方を導き出したいと考えている。

〔問〕水耕栽培による無農薬野菜生産プロジェクト等への共同参画への考え方について

〔都市建設部長〕限られた空間を活用でき、計画的な生産を見込めること等のメリットがあると認識した中で、本市の農地、また農家の置かれた現状を考えると、コスト面の慎重な検討が必要であるが、本市の農業の現状を活性化に結びつける可能性が非常にありと見え、その分野の調査、研究をしていきたいと考えている。

橋本 元秀 議員

市民協働の街づくりについて

〔問〕公共施設と市民協働について

〔市民生活部長〕香芝市における芸術文化を振興し、市民の暮らしの中に文化を息づかせる取り組みがあり、文化振興の拠点であるふたかみ文化センターでは、文化、芸術の鑑賞型事業と市民協働型事業を展開している。

この市民協働型事業としては、ふたかみ市民オペラやふたかみ青少年合唱団と協働で事業を行っている。

ホスピタリティについて

〔問〕おもてなしの心と対応については、人材育成の基本事項を遵守し、研修内容や方法について年間計画を立て実施しているが、接遇は、窓口対応など市民に接する際の基本的事項であるので必要に応じて研修の機会を考えた。

〔問〕市役所を市民の皆さんが使いやすいような状況にするような心がけについて

〔副市長〕平生は、ロビーに長机を置き、そこで書類を書けるような手



▲庁舎1フロア

配をしている。

また、ふれあいフェスタなどの行事が駐車場で行われるときについては、ロビーを開放している。

〔問〕ネット公売と払い下げオークションについて

〔総務部長〕県内市町村では、換価のためのネット公売を実施されつつあり、本市においてもネット公売を実施したいと考えている。

現在、実施市町村の手法等を調査検討し、円滑に実施するための準備に取りかかっているところである。

公有財産等の売り払いにインターネットを活用した払い下げオークションの導入は、歳入の確保、経費の削減、さらにパブリシティ効果があるので、ネット公売と同様に来年度を目標にしたいと考えている。

市民保護計画について

〔問〕生活道路の整備あるいは管理計画について

〔都市建設部長〕生活道路の維持管理については、各自治会からの要望による対処、また毎日の道路点検パトロールにより危険箇所の即時対処を行うことにより、車両及び歩行者の通行の安全に努めている。

また、各自治会からの計画的な改良については、年次的に地元要望に基づき対応している。

〔問〕生活道路の整備や管理問題に

ついては、地域との連絡が必要ではないか。

〔都市建設部長〕各地域とは現状の連絡体制を維持していきたいと考えている。

〔問〕武力攻撃への対応、情報の収集等について

〔市民生活部長〕武力攻撃事態等の情報伝達があった場合は、香芝市国民保護計画に従い、必要な職員が迅速に参集し、事態に応じた初動態勢の整備を行うこととしている。

対策本部においては、関係機関及び市民に対し警報や避難の指示の伝達、救援や対処についての迅速な措置を行い、市民の生命、身体及び財産を保護するよう努めたい。

市長の政治スタンスについて

〔問〕このまちをよくするという意味での国や県とのかわりについて

〔市長〕地域が独自の活性化を図るためには国や県との連携が大変重要であり、そのため直接国の機関や県を訪問し、相談または要望を行っているところである。

現在の新しい政権下ではさまざまな政策点検が行われ、これに伴い本市の政策に影響する状況も懸念されているところであるので、市民の有益性を考慮し、これまで同様、国や県への政策提案を行っていききたいと考えている。

細井 宏純 議員

▼市長による中央省庁への陳情、要望について

〔問〕政権の交代と共に陳情の手順や窓口が混乱しているが、その必要性と効果について

〔市長〕政権交代以後、国政への陳情や要望は、地元国会議員を通じ国へ上げる手続が示されている。

昨年十二月には、吉川政重衆議院議員に、まちづくり交付金事業等の必要性を訴え、その後、民主党県連の地域戦略会議での採択を得て国に上申をいた、だいている。

新しい手続による陳情の効果はまだ出ていないが、直接本市の実情を訴えることができたことに対しては大きな効果があったと考えている。

〔問〕政権の足元が安定しない状況下での、県選出の国会議員との連携について

〔市長〕現在、政権与党の吉川議員が選出されており、本市の実情にも詳しく、香芝市のために活躍いただけるものと認識しており、また他の奈良県選出の国会議員に対しても国政におけるそれぞれの立場にに応じて連携させていただいている。

今後とも本市が進むべき道をきちんと見きわめた上で情報交換を行い、必要な措置をお願いしていきたい。

いと考えている。

▼商工農連携による新産業の育成について

〔問〕商業、工業、農業それぞれの現状認識と今後の行政方針について

〔都市建設部長〕本市は、中心市街地の形成が成り立ちにくい経過をたどってきており、都市化の進展に伴い農地の小規模化や分散が進み、兼業農家がほとんどであり、また後継者不足が深刻になっている。

工業については、社会経済環境の変化の中で活力を弱めてきており、市内中小企業の経営基盤の強化、合理化を図るため、融資制度の充実等支援を行っているところである。

農業については、現在、市内の3朝市の協力をいただき地産地消の推進を図っているところである。

〔問〕具体的な連携による新産業育成への取り組みについて

〔都市建設部長〕全国発信できる製品や農産物は、過去から大きく育つことなく現状に至っているが、今後とも農作物や農産加工品の開発、販売について関係者の皆様方のご協力を得ながら、小規模ではあるが、連携的な生産、製造、販売のサイクルをつくっていききたいと考えている。

〔問〕産業振興施策を継続発展させるには、行政以外の企画立案できる人材も必要ではないか。

〔都市建設部長〕一つの企画を立ち上げていくには、企画力のある方のアドバイスが重要と考えられるので、今後は、そういう方のアドバイスを受けられる機会を設けて進めていきたい。

▼情操教育について

〔問〕情操教育についての現状の教育方針と今後の取り組みについて

〔教育長〕情操教育という言葉の定義は難しいが、「豊かな心を育てる教育」と言えるかと思う。

学校教育では、道徳や国語、音楽や図画工作、また体育といった教科や、動物飼育などの教育活動が用意されており、こうした場面と機会等を通して、今後とも一層豊かな心の育成に努めたいと考えている。

〔問〕学校に持ち込んだ生き物(は虫類)に対し、生きた餌(昆虫)を与えて食べさせている。1、2年生の低学年の子どもたちも何の躊躇ちゆうちよもないことについて

〔教育長〕生きとし生けるものの生命の尊さを認識し、大切にしなければならぬことは言うまでもないが、自分が生きるために他の生き物を食べるという、この食物連鎖の仕組みを子どもたちにどう教え、考えさせるかというのは大事な教育課題であり、慎重に進めなければならないと思っている。

河杉 博之 議員

▼長寿社会に向けて

〔問〕健康な高齢者の方への生きがい対策の取り組みについて

〔保健福祉部次長〕高齢者の知識や経験などを生かすためシルバー人材センターへの支援や、健康づくりのための老人クラブのグラウンドゴルフ等の事業に助成をしている。今後も、活動内容の充実等に努力したい。



▲老人クラブグラウンドゴルフ大会

〔問〕先進地では生きがい対策の事例があり、財団法人長寿社会開発センターが高齢者の生きがい対策の指導として、お手玉やおはじきなどの伝承遊びなどで、生きがいづくりをしている。このような事例の研究、計画について。

〔保健福祉部次長〕高齢者の方の生きがいボランティアという形のグループ活動に力を入れ、地域福祉委員会や自治会などにもお願いして、生きがい対策を進めていきたい。

〔問〕生きがい対策は、当面担当所管が主導していかなければならないと考えるが、市民協働ということになれば保健福祉部だけでできるものではないと考えるがどうか。

〔副市長〕高齢者福祉の生きがいや健康づくりの施策を展開するには、部の枠を超えた中で連携をとっていかなくてはならないと考えており、実績結果や評価体制の充実に鋭意取り組んでいきたい。

〔問〕二十三年度には、長寿社会に向け、部を超えた取り組みをスタート出来るのか。

〔副市長〕総合基本計画がこれからスタートをする状態であることから、見分けた中で考えたい。

〔問〕生きがいを感し、人との交流ができる居場所づくりについて

〔保健福祉部次長〕総合福祉センターの2階を高齢者の生きがいゾーンと位置づけており、カラオケや囲碁などを楽しんでおられる。

〔要望〕生きがいづくりの一環として、公民館や空き店舗などの活用を検討をお願いしたい。

〔問〕介護予防対策について

〔保健福祉部次長〕65歳以上の方を対象に生活機能アンケートを実施し、要介護状態になる恐れが多い方に転倒予防体操や筋力トレーニング等の紹介や参加を要請している。

〔青少年の健全育成について〕

〔問〕学校教育現場におけるいじめ対策について

〔教育部長〕各教師に問題が深刻にならないよう早期発見し、早急かつ慎重に対処するように指導し、いじめを許さない集団づくりに励んでいく。また、対応マニュアルの配付やいじめ問題に留意した教員研修などを適時行っており、内容によってはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが専門的にかかわり対応している。

〔問〕最近、携帯電話やウェブサイトによるいじめがふえていることについての対策について

〔教育部長〕県教育委員会が県内中学校の非公式サイトの調査を行った結果、本市4中学校の学校非公式サイトは全部で75あったが、個人を誹謗中傷する投稿はなかった。

各学校には、誹謗中傷の書き込みによる心の打撃を子どもたちに教えるため、学級活動の時間にもこの問題を取り上げるよう指導している。

〔問〕香芝の青年層に対する、魅力あるまちづくりについて

〔市民生活部長〕香芝市独自の魅力を、あらゆる機会を通じて若い方にも発信していきたいと考えている。

〔問〕具体的な事例について

〔市民生活部長〕成人式での企画や、冬彩にも企画しており、今後も若者が参加できるイベント関係等も充実していきたい。

〔要望〕若者にとっても魅力ある香芝市の構築をお願いする。

芦高 省五 議員

雇用対策について

〔問〕雇用の7割を支える中小企業、業者の危機は、地域の雇用や地域経済そのものの危機に直結する重大な問題である。民需が低迷している今だからこそ、国や地方自治体などが発注する官公需を地域の中小業者の仕事おこしに活用し、自治体みずからが地域に仕事をつくり出すことが必要ではないか。

〔都市建設部長〕現下の雇用失業情勢を鑑み、奈良県緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用して、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者の生活の安定を図るため、本市においても県より基金を受けた上で雇用の拡大に努めているところである。

平成二十二年度の事業として、事業費約五千五百万円、62名の雇用を行っており、来年度も雇用者数の拡大を目指したいと考えている。

〔問〕雇用対策事業の具体的な内容について

〔都市建設部長〕主な事業は、庁舎内



▲幹線道路の清掃作業

各種台帳の再整理、照合事業に事業費として約千八百万円、16名の雇用、市内幹線道路、学校、駅周辺等の清掃を定期的に行う「うつくしいまち香芝」事業に約千六百万円で26名の雇用、さらに、子どもの不登校やいじめ問題等に関し原因に応じた対応をするためのソーシャルワーカーを雇用する事業として約三百二十万円で2名の雇用を行っている。

〔年末を控え中小業者の活性化について〕

〔問〕長期にわたり景気が悪く、不況と言われる状態が一貫して続いており、中小の業者は仕事がない、あるいはこのままでは正月を迎えることができない大変な状況であり、何とかしてほしいという声が各地で巻き起こっていると聞かれています。

また、地域の雇用を担い、地域経済を支える中小企業、業者の経営が危機に瀕している。

こういう現状において、行政としてどのように対処していくのか。

〔都市建設部長〕中小企業においては受注の低迷、経済のグローバル化による諸外国との価格競争の激化、取引先からのコストダウン要請など構造的な課題などから、いまだに景気の回復を広く実感できる状況となっていないと考えている。

そのような中、本市では市内中小

長谷川 翠 議員

▼平成二十三年度香芝市予算編成にあたり、本市の方針について

〔問〕本市の財政状況について

企業者並びに市内の創業者を金融面で支援する制度として、信用保証料や利子の補給を行う香芝市中小企業資金融資制度並びに香芝市新規創業資金融資利子補給制度を設け、また奈良県ではセーフティネットワーク保証制度に係る特定中小企業者の認定事業や公的資金制度をそれぞれ行っているところである。

〔問〕最近では資金融資制度の利用状況が極めて悪くなっているが、その理由について

〔都市建設部長〕資金融資制度の利用状況は、近年8年間では平成十九年度での87件の扱いをピークとして、現在では落ち込み二十一年度実績では27件の利用となっている。

そして新規創業者資金融資利子補給金交付制度の利用についても、平成十七年度での12件の扱いをピークとして、以降減少して二十一年度では2件の扱いとなっている。

この利用状況を踏まえ、年度当初に金融機関の担当とも協議を行ったところ、現状の国の制度の施策の中でセーフティネットワークが非常に手厚くなっており、市の融資制度よりも借りやすい状況、また返ししやすい状況があると考えられた。

今後はさらに利用しやすい形への改善ができないのか検討も加えていきたいと考えている。

〔要望〕このクーポン券の利用を、一層皆様に周知して、がん検診の啓発活動に力を注いでもらいたい。

十分に検討してもらいたい。

〔問〕うつ病対策として、認知行動療法の普及促進することについて

〔保健福祉部長〕県や関係機関と連携して、うつ病予防などメンタルヘルス対策や認知行動療法の研究に取り組んでいきたい。

〔要望〕うつ病対策の認知行動療法も含めて、しっかりと取り組みをお願いしたい。

〔問〕妊産婦検診14回の助成の継続をどのように考えているのか。

〔保健福祉部長〕当初、国の対策により、公費負担で14回の妊婦健診を平成二十三年三月まで受けられるようになっていたが、平成二十三年度も継続されることになった。

〔問〕本市の一時保育や病後児保育の状況について。

〔保健福祉部長〕一時保育や病後児保育事業の利用状況として、平成二十一年度は、平成二十年度と比較して若干増加している。

今後も、保護者の多様な保育ニーズに対応するための環境整備に努めていきたい。

〔要望〕病後児保育や一時保育の利用者が年々増加している中、利用料を経済的に負担と感じている方もいることから、この利用料金の設定を

▼第4次香芝市総合計画基本構想に基づいた今後のまちづくりについて

〔問〕協働のまちづくりをするための市民参画拡大の取り組みについて

〔市民生活部長〕市民参画の拡大の実現には、市民の発想や想像力などを生かしながら、ともにまちづくりを進め、力を最終して地域力を高める必要があると考えており、行政と市民が協働する活動の調査研究を進めている。

また、日ごろから市民の公益的な動向を把握し、行政として協力体制を整えていきたい。

〔要望〕協働参画のまちづくりは、日々の積み重ねにより築き上げていくものと考えており、今後も、市民協働参画のまちづくりを推進していただきたい。

〔問〕二十三年度の予算編成やこれからの総合計画の実現に向けてのまちづくりへの決意について

〔市長〕マニフェストに掲げた施策等の総点検を二十三年度の予算編成に向けてやりたいと考えており、住んでよかったと言われるまちづくりに市民協働という形で市民の方に参画いただき、文化、教育を含めた諸施策を考え、特色あるまちづくりの一つとして、香芝ブランドを立ち上げたいと考えている。

平成23年3月定例会会期(予定)



3月定例会は、3月1日からの予定です。

月	日(曜日)	会議名
3	1(火)	本 会 議
	2(水)	休 会
	3(木)	総務財政委員会
	4(金)	民生文教委員会
	5(土)~6(日)	休 会
	7(月)	建設水道委員会
	8(火)	休 会
	9(水)~11(金)	予算特別委員会
	12(土)~13(日)	休 会
	14(月)~15(火)	一 般 質 問
	16(水)~21(月)	休 会
	22(火)	本 会 議

※日程変更の場合があります。

わかりやすく、信頼される  
香芝市議会を目指して…

議会の傍聴においでください

傍聴を希望される方は、市役所5階議会事務局で、傍聴人受付簿に住所、氏名及び年齢を記入していただくと、傍聴することができます。



- ◆定員/議場 44人
- ◆委員会室(委員長が別に定める)

●本会議の状況は、庁舎1階ロビーでもご覧になれます。



香芝市ホームページ

<http://www.city.kashiba.lg.jp/>

議会の開会日、会議録(本会議・委員会)の閲覧や議員の紹介をご覧ください。

議  
会  
日  
誌

平成22年

- 11月 30日 本会議
- 12月 6日 総務財政委員会
- 7日 民生文教委員会
- 8日 建設水道委員会
- 13日 一般質問
- 14日 一般質問
- 17日 本会議
- 19日 JR志都美駅橋上駅舎自由通路完成式



▲市議会議場

平成23年

- 1月 9日 香芝市消防出初式成人式



▲成人式



▲消防出初式



▲JR志都美駅

2月

- 2月 27日 第三回近畿市議会議長会支部長会
- 18日 第三回近畿市議会議長会理事會
- 7日 議会だより編集委員会
- 9日 全国市議会議長会理事會・評議員會
- 14日 第四回奈良県市議会議長會
- 16日 議会運営委員会
- 16日 香芝・王寺環境施設組合協議會
- 17日 全国高速自動車道市議会議長協議會
- 18日 議会改革特別委員会

編集後記

暦の上では、立春も過ぎましたが、春を告げる東大寺のお水取りが終わるまでは、まだまだ、寒い日が続く感じがいたします。

今年に入り、本市の小学校等でもインフルエンザが原因とみられる学級閉鎖が始まっています。厚生労働省によると、今シーズンは、季節性インフルエンザと新型インフルエンザのいずれもが流行の可能性があるとのことですから、こまめな手洗いやうがい、励行、またマスクを着用されるなどで、お体にご注意いただきますようお願いいたします。

さて、三月定例会は「予算議会」ともいわれ、平成二十三年度の予算が市民のために適正に編成されているかどうかを審査する「予算特別委員会」も上記の日程で開催されますので、是非、傍聴においでください。議会だよりは、議会の活動をわかりやすく伝えるよう努めておりますが、ご意見等ありましたら、議会だより編集委員会(議会事務局内)までお寄せください。

議会だより編集委員会

- 委員長 河杉博之
- 副委員長 北川重信
- 委員 奥山隆俊
- 川田英裕
- 池田道生

(問合せ) TEL 762001